

### 1-3 日本全国の地殻変動 Crustal Deformations of Entire Japan

国土地理院  
Geospatial Information Authority of Japan

#### [GNSS]

第1～6図は、GEONETによるGNSS連続観測から求めた最近1年間および3ヶ月間の全国の水平地殻変動である。固定局（☆の点）は、長崎県五島列島の福江観測点である。国土地理院ではアンテナ交換や観測点周辺の樹木の伐採等の保守を行っており、これに伴うオフセットの補正を後日F3解が得られてから行っている。基準期間と比較期間を含む期間中にアンテナ交換が行われ、それによるオフセットを補正した観測点の変動ベクトルについては、補正誤差が含まれる可能性があるため、白抜きの矢印で示し区別している。

#### [GNSS 1年間]

第1図の最近1年間の北海道・東北地方の図においては、2011年3月11日に発生した平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（M9.0, 最大震度7）の後に続く余効変動が顕著である。道東地方では、千島海溝沿いのプレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。

第2図の日本列島中央部の図には、東北地方太平洋沖地震後の余効変動の影響が見られる。また、2014年11月22日に発生した長野県北部の地震（M6.7）に伴う地殻変動が見られる。東海地方から四国にかけては、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。また、小笠原村の硫黄島（いおうとう）については、火山性の地殻変動が見られる。

第3図の日本列島西部の図においては、第1～2図と異なり、凡例のベクトルのスケールを5cmとしている。中国・四国地方の西部から九州地方にかけて、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う変動が見られる。

#### [GNSS 3ヶ月]

第4～6図は、最近3ヶ月間の変動ベクトル図である。

第4図の北海道・東北地方では、東北地方太平洋沖地震後の余効変動の影響が見られる。道東地方には千島海溝沿いのプレートの沈み込みに伴う北西向きのベクトルが見られる。

第5図の日本列島中央部では、東北地方太平洋沖地震後の余効変動の影響が近畿地方から東側で顕著に見られる。また、小笠原村の硫黄島で火山性の地殻変動が見られる。紀伊半島から四国にかけて南海トラフ沿いのプレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。

第6図の九州以西の図では、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う変動が見られる。また、桜島では2015年8月15日の活発な火山活動に伴う地殻変動が見られる。

#### [GNSS 差の差 3ヶ月]

第7～9図は、最近3ヶ月間の水平方向の地殻変動について、年周変化やプレート運動等の定常的な変動の影響を取り去った変動を見るため、1年前の同時期の水平変動ベクトルに対する差を示す図である。これらの図においては、前の期間に生じた地殻変動は、逆向きに表示され

る。また、最近の3ヶ月間または1年前の同時期にアンテナ交換を行った観測点について白抜き  
の矢印で示している。

第7図の北海道・東北地方の図と第8図の日本列島中央部の図には、東北地方から関東、甲信  
越、北陸地方にかけて、西向きのベクトルが見られる。これは、東北地方太平洋沖地震後の東  
向きの余効変動が1年前に比べて減衰していることを示している。

第9図の九州以西の図では、桜島で火山性の地殻変動が見られる。

#### [GNSS ひずみ変化]

第10～15図は、GNSSデータから推定した日本列島の最近1年間のひずみ変化を示す図である。  
第10図は日本全国のひずみ変化である。北海道南部から中部・北陸地方にかけて、東北地方太  
平洋沖地震後の余効変動の影響による顕著なひずみが見られる。このひずみは、牡鹿半島付近  
から宮古市付近にかけての三陸沿岸周辺においては北西－南東方向の縮み、その他の地域にお  
いては概ね震源域に向かう方向の顕著な伸びとなっている。また、長野県北部の地震に伴う地  
殻変動による北西－南東方向の顕著な縮みが見られる。

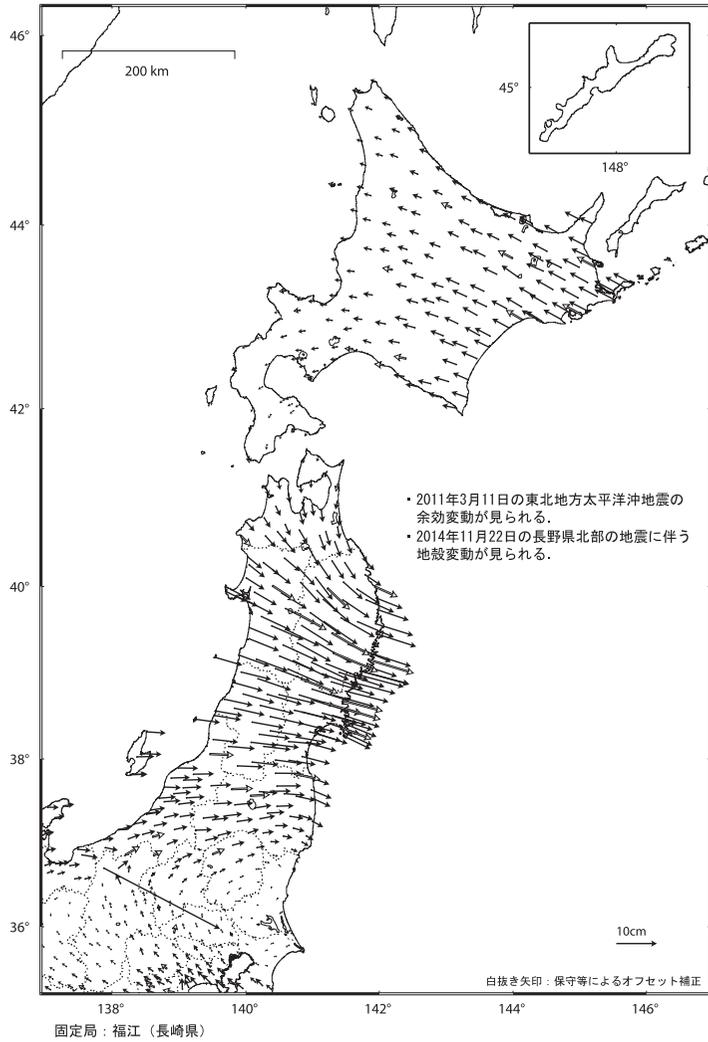
第11～13図は、第10図を地方ごとに拡大した図である。このうち、第13図は、東北地方太平  
洋沖地震後の余効変動の影響を見やすくするため、東北地方を拡大し、ひずみ表示のスケール  
を変えて示したものである。

第14図は、東北地方の最近3ヶ月間のひずみ変化である。東北地方太平洋沖地震後の余効変  
動の影響によるひずみが見られる。ひずみの分布の特徴は概ね第13図に示した1年間のひずみ  
と同様であるが、ひずみ速度でみると、最近3ヶ月は岩手県南部で東西方向の伸びが小さくな  
っている。これは、1年間のひずみ変化には5月13日に発生した宮城県沖の地震による影響が含  
まれているためで、3ヶ月間のひずみ変化は以前の状況に戻っている。また、長野県北部に見  
られる北西－南東方向の縮みは、長野県北部の地震後の余効変動の影響とみられる。

第15図は、第10図との比較のために、地震や余効変動の影響が少なかった1998年10月からの  
1年間のひずみ変化を、定常時のひずみ変化とみなして示したものである。定常時における東  
日本のひずみは概ね東西方向の縮みとなっている。

全国の地殻水平変動 1年間 (1)

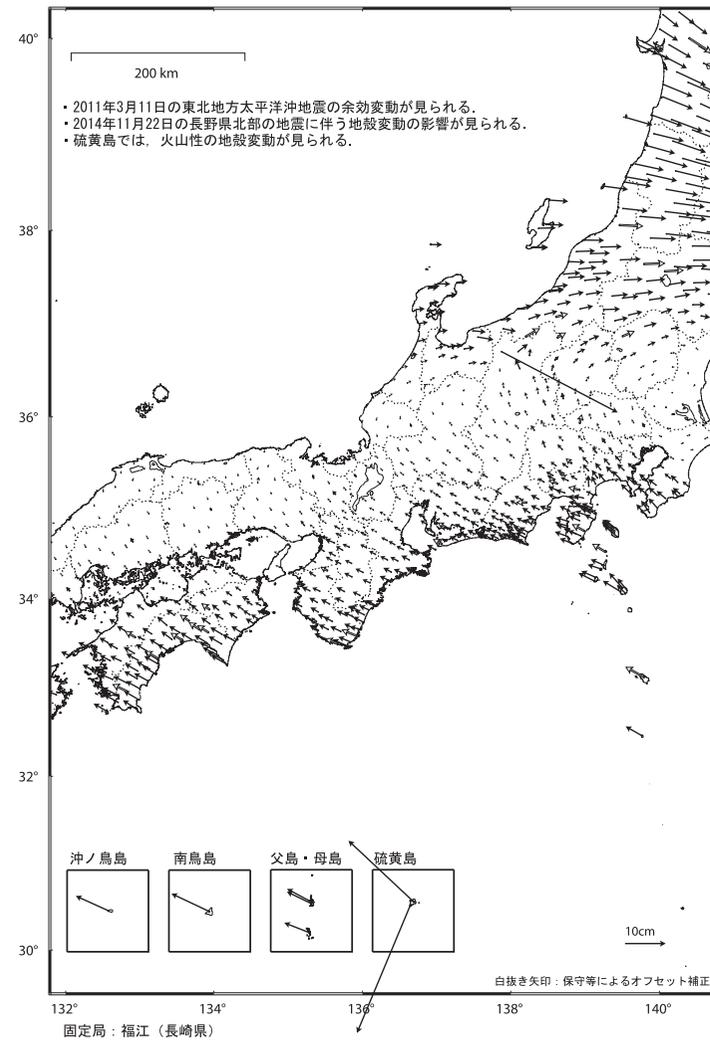
基準期間：2014/10/03 — 2014/10/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2015/10/03 — 2015/10/17 [F3：最終解]



第1図

全国の地殻水平変動 1年間 (2)

基準期間：2014/10/03 — 2014/10/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2015/10/03 — 2015/10/17 [F3：最終解]

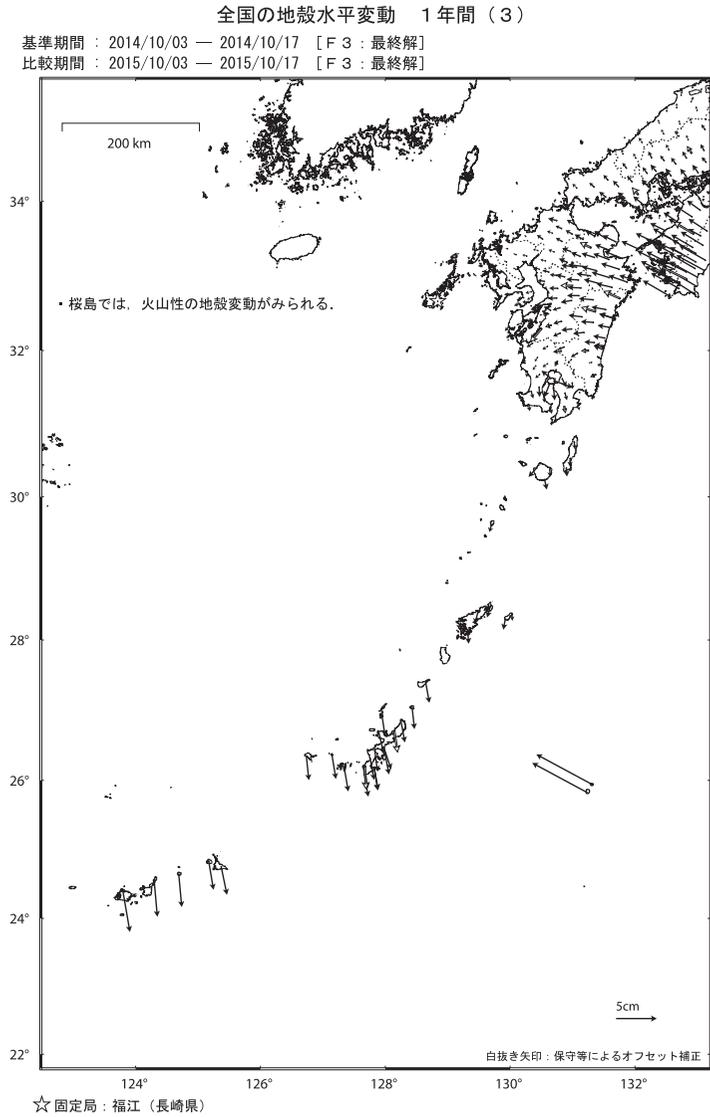


第2図

第1図～第3図 GNSS連続観測から求めた2014年10月～2015年10月間の水平変動

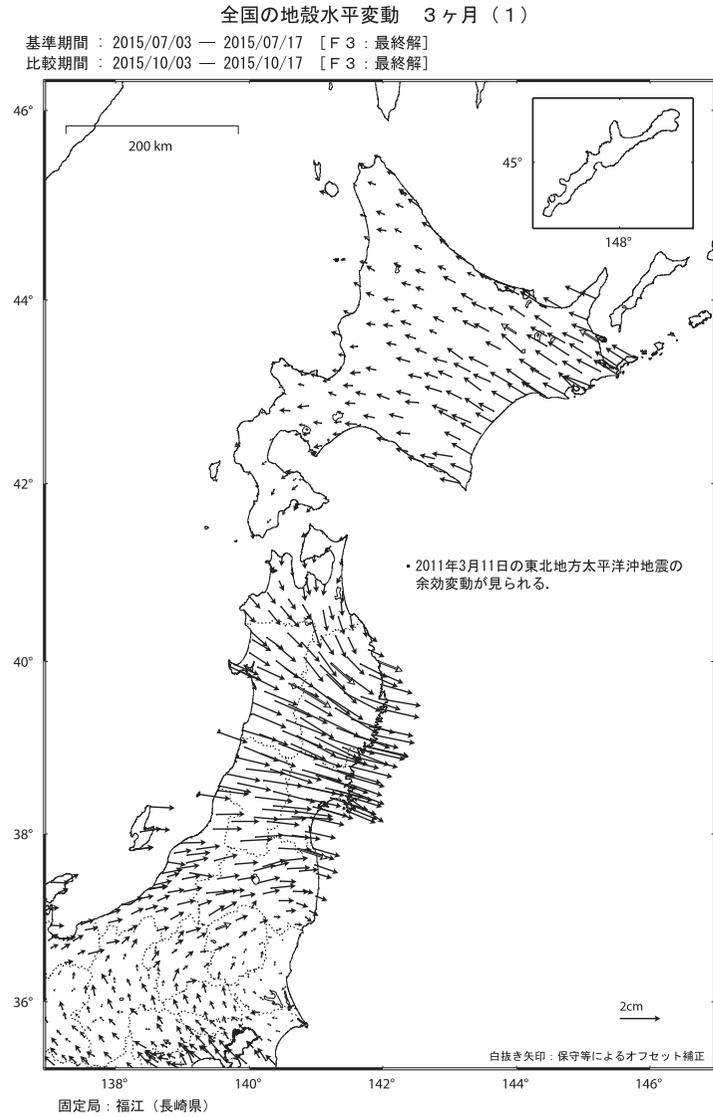
Fig. 1-3 Annual horizontal displacement velocities at permanent GNSS sites during 2014/10-2015/10.

(☆, Reference station is Fukue)



第3図

第1図～第3図 GNSS連続観測から求めた2014年10月～2015年10月間の水平変動  
Fig. 1-3 Annual horizontal displacement velocities at permanent GNSS sites during 2014/10-2015/10. (☆, Reference station is Fukue)

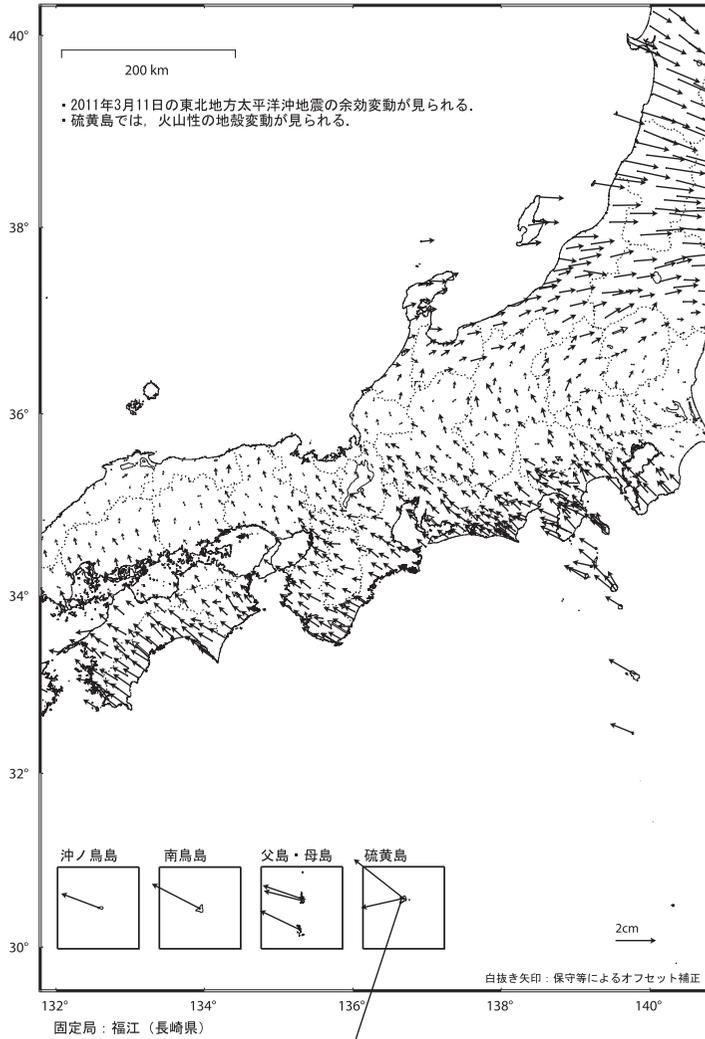


第4図

第4図～第6図 GNSS連続観測から求めた2015年7月～2015年10月間の水平変動  
Fig. 4-6 Horizontal displacements at GNSS sites during 2015/7-2015/10. (☆, Reference station is Fukue)

全国の地殻水平変動 3ヶ月(2)

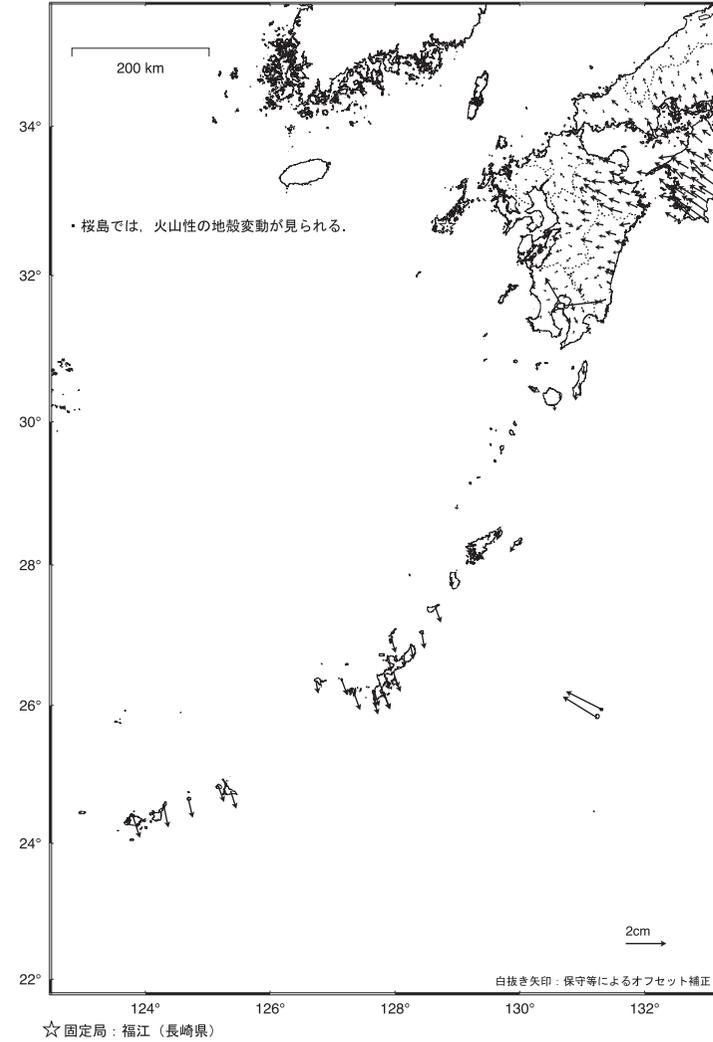
基準期間：2015/07/03 — 2015/07/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2015/10/03 — 2015/10/17 [F3：最終解]



第5図

全国の地殻水平変動 3ヶ月(3)

基準期間：2015/07/03 — 2015/07/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2015/10/03 — 2015/10/17 [F3：最終解]

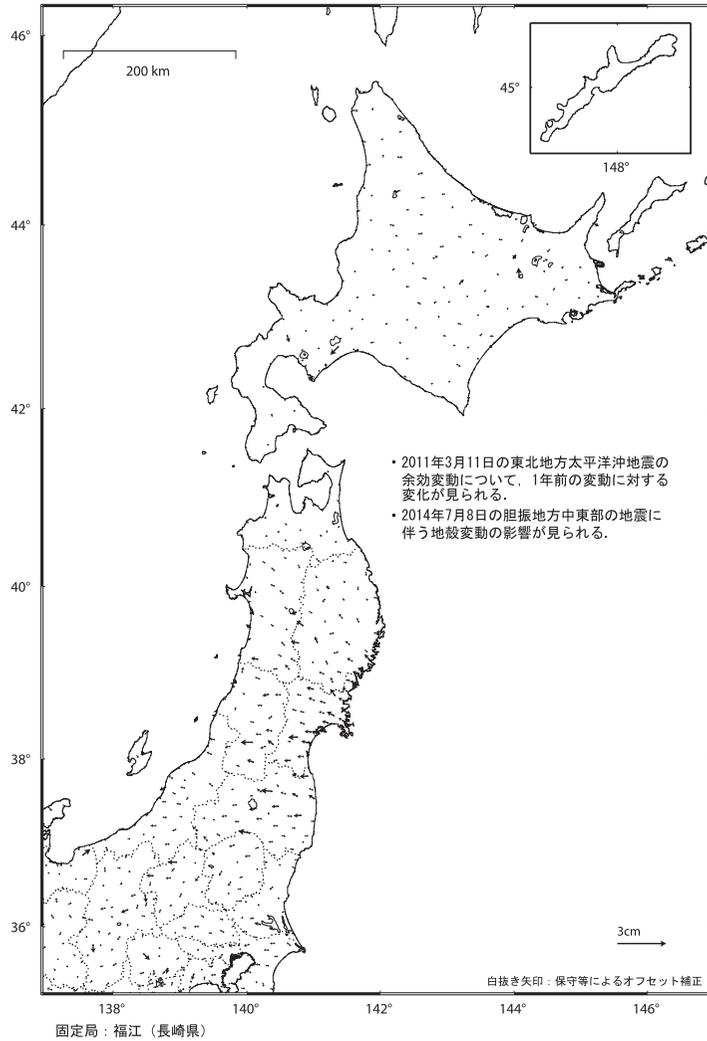


第6図

第4図～第6図 GNSS連続観測から求めた2015年7月～2015年10月間の水平変動  
 Fig. 4-6 Horizontal displacements at GNSS sites during 2015/7-2015/10. (☆, Reference station is Fukue)

2 期間の地殻変動ベクトルの差 3ヶ月 (1)

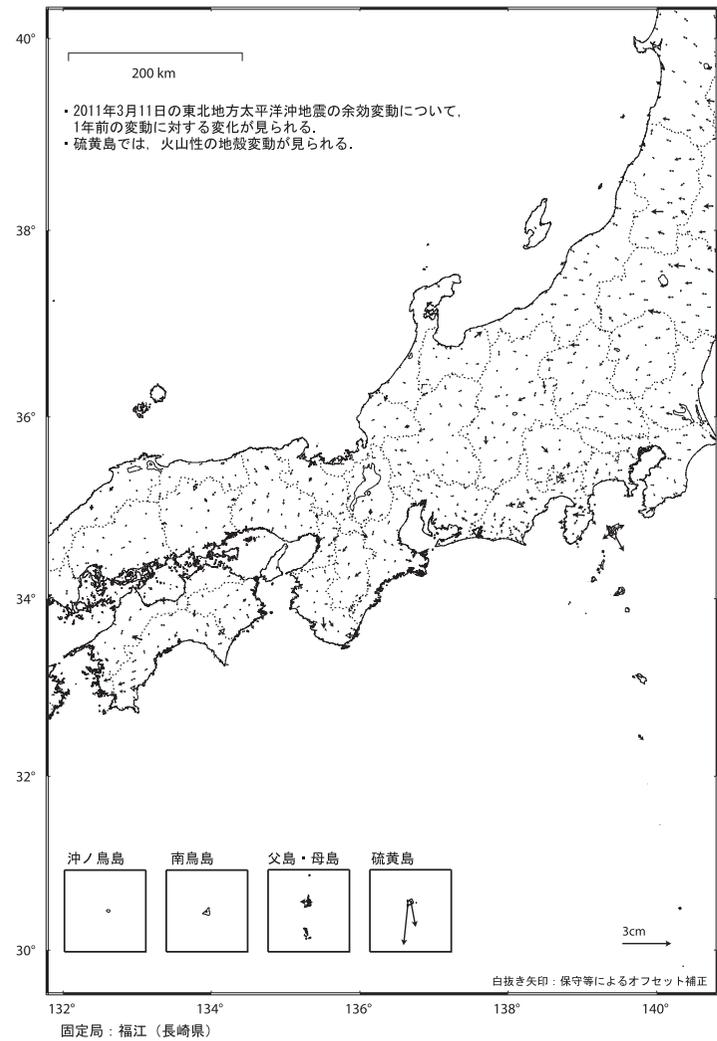
基準期間：2014/07/03 -- 2014/07/17 [F3：最終解] 基準期間：2015/07/03 -- 2015/07/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2014/10/03 -- 2014/10/17 [F3：最終解] 比較期間：2015/10/03 -- 2015/10/17 [F3：最終解]



第7図

2 期間の地殻変動ベクトルの差 3ヶ月 (2)

基準期間：2014/07/03 -- 2014/07/17 [F3：最終解] 基準期間：2015/07/03 -- 2015/07/17 [F3：最終解]  
 比較期間：2014/10/03 -- 2014/10/17 [F3：最終解] 比較期間：2015/10/03 -- 2015/10/17 [F3：最終解]



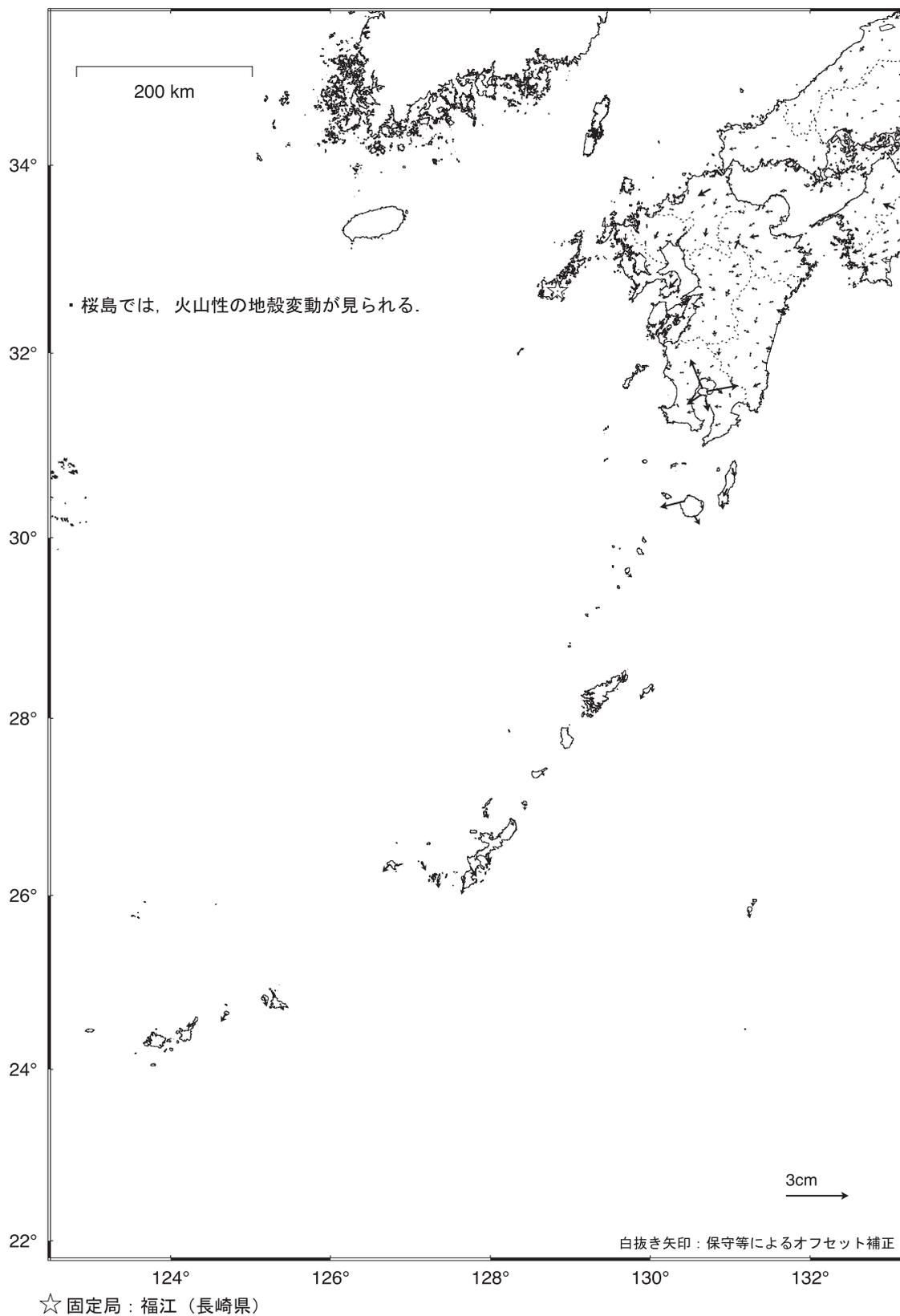
第8図

第7図～第9図 GNSS水平変動の差 (3ヶ月間)

Fig. 7-9 Variation of GNSS horizontal displacements: Difference of displacements between 2014/7-2014/10 and 2015/7-2015/10.

## 2 期間の地殻変動ベクトルの差 3 ヶ月 (3)

基準期間 : 2014/07/03 — 2014/07/17 [F 3 : 最終解]      基準期間 : 2015/07/03 — 2015/07/17 [F 3 : 最終解]  
 比較期間 : 2014/10/03 — 2014/10/17 [F 3 : 最終解]      比較期間 : 2015/10/03 — 2015/10/17 [F 3 : 最終解]



第 9 図

第 7 図～第 9 図 GNSS 水平変動の差 (3 ヶ月間)

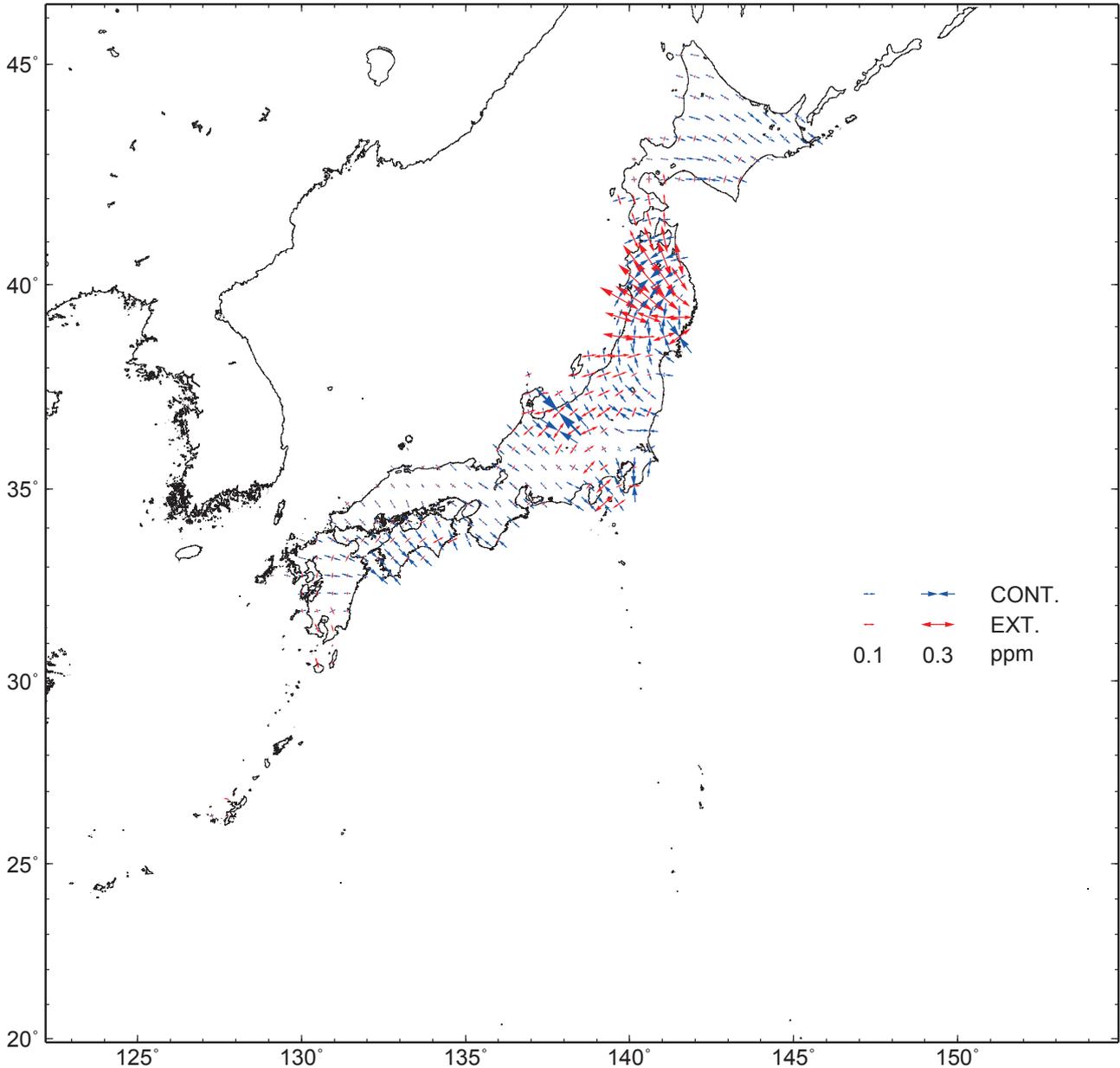
Fig. 7-9 Variation of GNSS horizontal displacements: Difference of displacements between 2014/7-2014/10 and 2015/7-2015/10.

## GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。  
2014年11月22日に発生した長野県北部の地震に伴う地殻変動の影響が見られる。

基準期間：2014/10/03 - 2014/10/17 [F3：最終解]

比較期間：2015/10/03 - 2015/10/17 [F3：最終解]



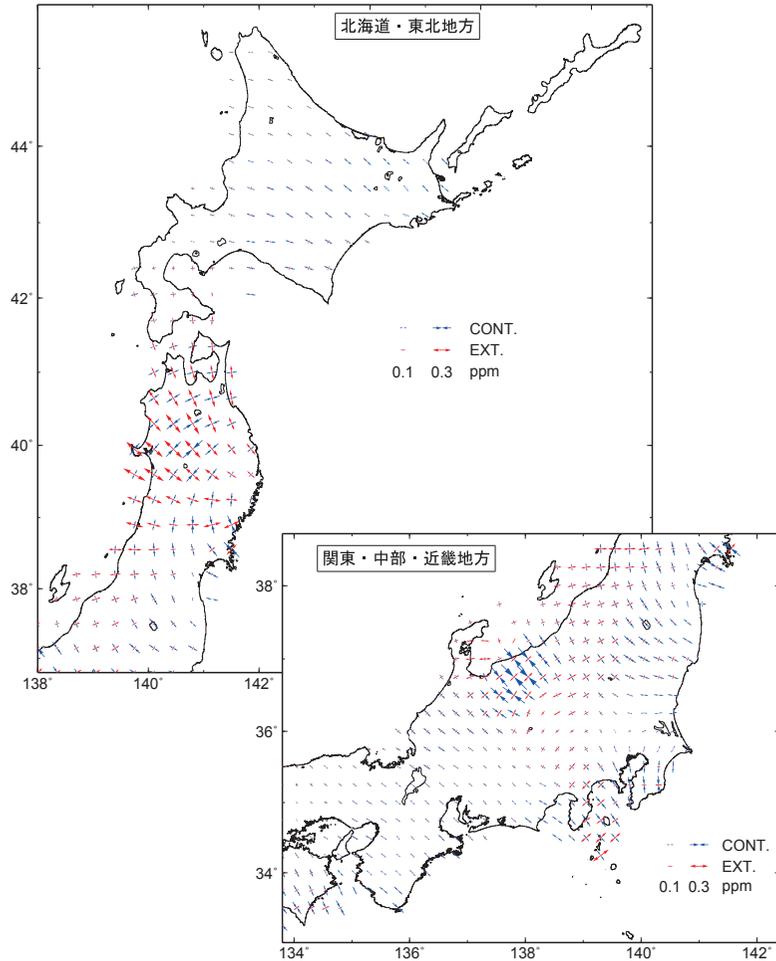
- ・ GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- ・ 座標値の15日分の平均値から1年間の変位ベクトルを算出し、それに基づいてひずみを計算している。

第10図 GNSS連続観測データから推定した日本列島の水平歪（2014年10月～2015年10月間）  
Fig. 10 Horizontal strain in Japan derived from continuous GNSS measurements during 2014/10-2015/10.

GNSS 連続観測から推定した各地方のひずみ変化 (1)

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。  
2014年11月22日に発生した長野県北部の地震に伴う地殻変動の影響が見られる。

基準期間：2014/10/03 - 2014/10/17 [F3：最終解]  
比較期間：2015/10/03 - 2015/10/17 [F3：最終解]



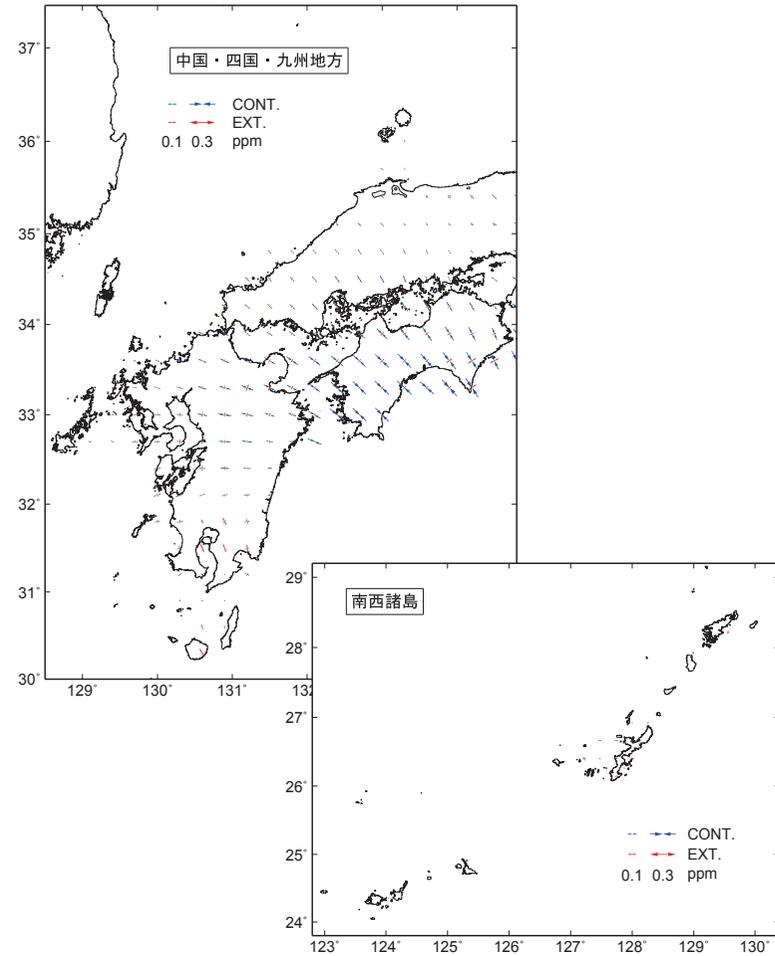
・図はGNSS連続観測による1年間の変位ベクトルから推定した各地方毎の地殻水平ひずみを示す。

第11図 GNSS連続観測データから推定した北海道・東北および関東・中部・近畿地方の水平歪 (2014年10月~2015年10月間)

Fig. 11 Horizontal strain in Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu and Kinki districts derived from continuous GNSS measurements during 2014/10-2015/10.

GNSS 連続観測から推定した各地方のひずみ変化 (2)

基準期間：2014/10/03 - 2014/10/17 [F3：最終解]  
比較期間：2015/10/03 - 2015/10/17 [F3：最終解]



・図はGNSS連続観測による1年間の変位ベクトルから推定した各地方毎の地殻水平ひずみを示す。

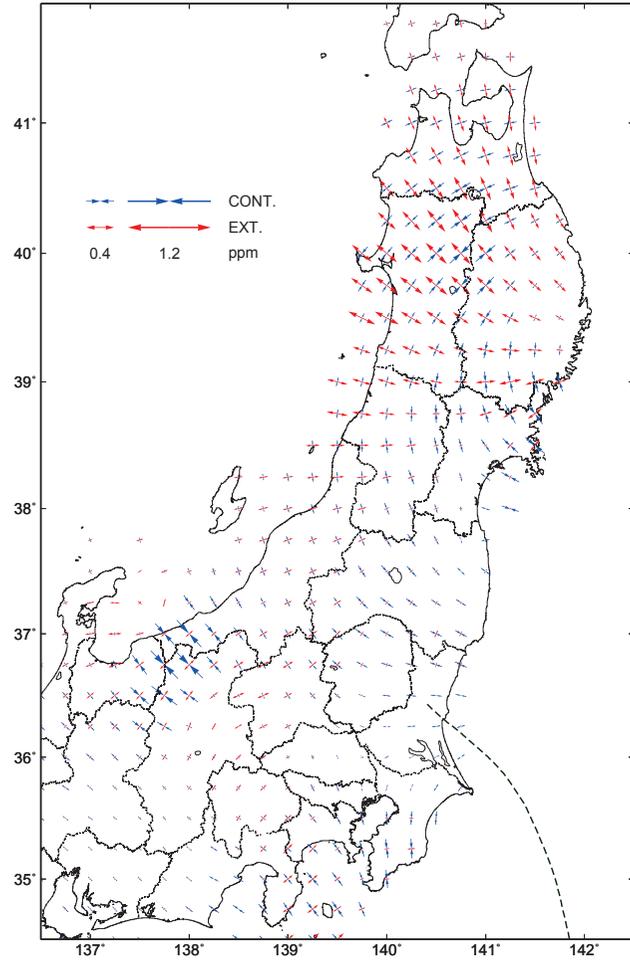
第12図 GNSS連続観測データから推定した中国・四国・九州及び南西諸島地方の水平歪 (2014年10月~2015年10月間)

Fig. 12 Horizontal strain in Chugoku, Shikoku, Kyushu and Nansei-islands districts derived from continuous GNSS measurements during 2014/10-2015/10.

GNSS 連続観測から推定した地震後のひずみ変化 東日本

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。  
2014年11月22日に発生した長野県北部の地震に伴う地殻変動の影響が見られる。

基準期間：2014/10/03 - 2014/10/17 [F3：最終解]  
比較期間：2015/10/03 - 2015/10/17 [F3：最終解]



・ 太破線はフィリピン海スラブの北東端 (Uchida *et al.*, 2010, JGR).

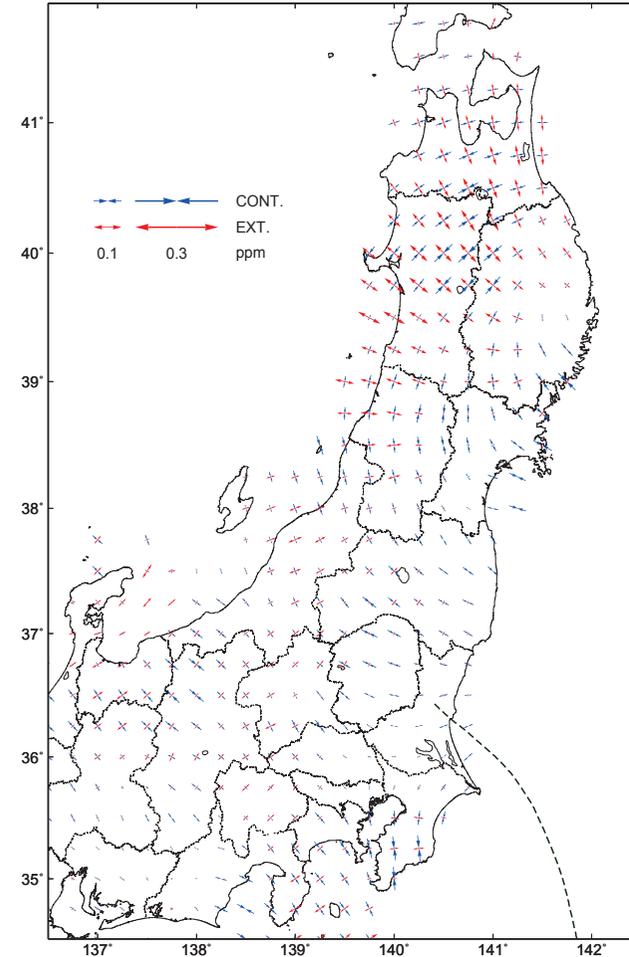
第13図 GNSS連続観測データから推定した東日本の水平歪 (2014年10月～2015年10月間)

Fig. 13 Horizontal strain in eastern Japan derived from continuous GNSS measurements during 2014/10-2015/10.

GNSS 連続観測から推定した地震後のひずみ変化 東日本 3か月

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。

基準期間：2015/07/03 - 2015/07/17 [F3：最終解]  
比較期間：2015/10/03 - 2015/10/17 [F3：最終解]



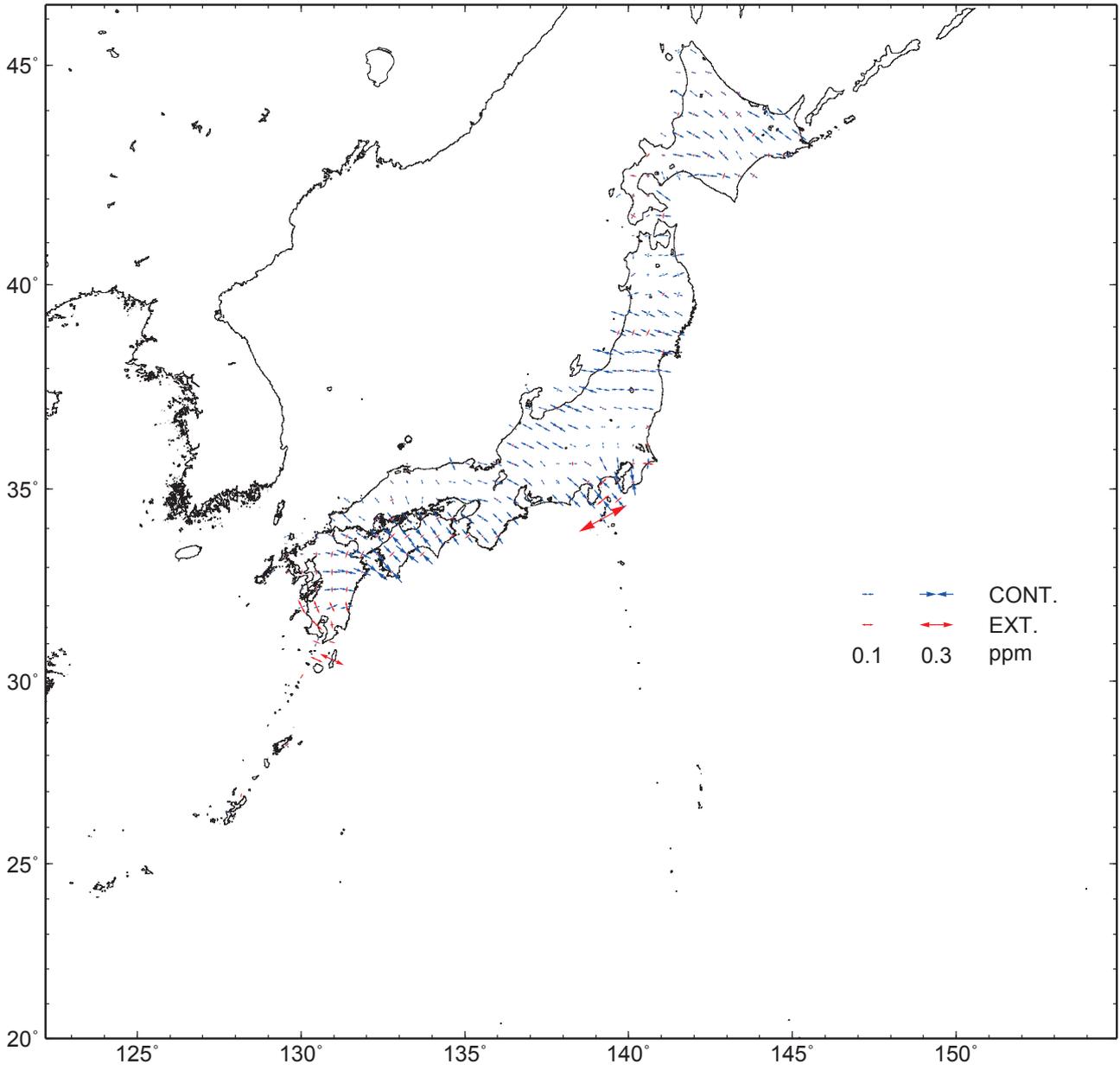
・ 太破線はフィリピン海スラブの北東端 (Uchida *et al.*, 2010, JGR).

第14図 GNSS連続観測データから推定した東日本の水平歪 (2015年7月～2015年10月間)

Fig. 14 Horizontal strain in eastern Japan derived from continuous GNSS measurements during 2015/7-2015/10.

## GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化 定常時・比較用

基準期間：1998/10/03 – 1998/10/17 [F3：最終解]  
 比較期間：1999/10/03 – 1999/10/17 [F3：最終解]



- ・ GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- ・ 座標値の 15 日分の平均値から 1 年間の変位ベクトルを算出し、それに基づいてひずみを計算している。
- ・ 上図の期間は定常時の変動を示す（伊豆諸島周辺を除く）。

第15図 GNSS連続観測データから推定した日本列島の水平歪【定常時・比較用】  
 Fig. 15 Regular variation and comparison of horizontal strain in Japan derived from continuous GNSS measurements.